

寿精版印刷

寿精版印刷(株) (大阪市天王寺区上汐、鷺谷和彦社長、☎06-6770-2800) は現在、社員の健康向上を戦略的に実践する「健康経営」に注力。社員が心身ともに安心して日々の業務に従事できる体制を構築し、企業成長を促進させる経営戦略を展開している。このような取り組みが評価され、経済産業省から「健康経営優良法人認定制度」の上位500法人に付与される「プライト500」を3年連続で認定された。同社の事業動向と健康経営の内容をレポートする。(内田

同社は1946年、ラベルや包装紙類の印刷を手がける企業として創業。以降、包材や販促、転写およびITソリューションといった4事業を推進し、グループ全体で売上高132億円、社員数690人の規模へと成長を遂げた。中でも創業当初から製造するラベルの需要分野としては、酒類・飲料・食品が多い。ラベルの受注推移に ついて、コロナ禍では、生活必需品と

される分野を中心に堅調であった。さらにコスト削減に努めたことで、収益は当初の計画通りに推移した。一方、アフターコロナを迎えた現在は、原材料価格の高止まりに加え、社員の賃金ベースアップに継続的に取り組む。特に強みとされるデザイン力を生かしたお客さまの利益に直結する提案活動を推進している。

また同社総務本部の担当者は「オペレーターの多能工化・多専門化を図り、1人にかかる業務負担を低減することで、生産の効率化と長時間残業のない職場を長年にわたり実現している。その一環として36年間、ロス削減と生産工程での協力体制にかかわるマネジメントシステム『トータルプロダクティブメンテナン

が、寿精版印刷のように「景品(最終製品の一部を構成するもの)での表彰では極めて珍しいと聞きました」(担当者)とされる。さらにISOについては①9001(品質)②14001(環境)③27001、ISMS(情報セキュリティ)④45001(労働安全衛生)、以上4つの認証を得ており、特に④は「印刷業界として初」(同社)と説く。加えて先述のTPMに加え「健康経営」についても積極的に取り組む。健康経営とは、社員の健康管理を経営的な視点に基づき遂行することで、生産性の向上や社内での活力増進などによる企業業績のアップにつながることを指す。

健康経営「プライト500」3年連続認定

労働環境整備が企業価値向上に

ス(TPM)」を実践。無災害連続記録として、東京工場では6750日、高井田工場では6100日を達成し、TPMワールドクラス賞も獲得しました。当社が目指す持続可能なモノづくりを可能にするため、社員には全員参加による国家資格・公的資格・民間資格の取得にも力を注いでいます」と話す。

担当者は健康経営に注力する理由を「社員が健康を心配せず長く勤務してもらう体制を構築することにより、当社としての企業ブランド価値が向上。採用活動で優秀な人材を雇用でき、企業成長につながると考えています」と説明する。

健康経営の具体的な取り組みとしては、社員の健康を維持するための健康診断はもとより、二次健康診断費用の全額会社負担や人間ドックを受診する際の補助金制度を導入。また産業医と内科と心療内科のドクターと契約し、心身ともに安定した職場環境を整えている。また働き方改革の推進から労働時間の適正化

 2003年(平成15年) 全社、全工場について FSC®CoC(森林認証) 認証取得	 2018年(平成30年)6月21日 Sedex/SMETA倫理監査に適合(合格)
 2023年(令和5年)3月31日 循環経済パートナーシップ(J4CE)に登録 世界的な循環経済への流れの中で、当社の取り組みの促進を目指す	 2023年(令和5年)12月6日 製品安全対策優良企業表彰を受賞 経済産業省より、製品安全対策優良企業表彰(PSアワード)優良賞を受賞
 2023年(令和5年)9月1日 SAFEコンソーシアムに登録 安全で健康に働くことのできる職場環境の実現を目指す。従業員の幸せのためのSAFEコンソーシアムに加盟	 2023年(令和5年)11月6日 サーキュラーパートナーズに登録 「成長志向型の資源自律経済戦略」に基づき、サーキュラーエコノミーの実現を目指し、産官学の連携を促進する
 2023年(令和5年)11月10日 世界最高峰/パッケージデザイン賞 「Pentawards 2023」コンセプト部門にて 金賞・銀賞ダブル受賞	

健康経営優良法人 2024
Health and productivity プラト500
2024年(令和6年)3月11日 経済産業省より、3年連続で「健康経営優良法人2024～プライト500～」に認定 ※プライト500:認定された中小規模法人部門(66年、計16,733法人)の内、上位500法人のみにも与えられる認定制度 「健康経営優良法人の中でも優れた企業」かつ「地域において、健康経営の発信を行っている企業」を指す

寿精版印刷が取得・認定を受けた国家・公的資格

製品安全対策にも注力 PSアワード優良賞獲得

同社は昨年12月、経産省による「製品安全対策優良企業表彰(PSアワード)」で優良賞を獲得した。同表彰は一般的に自社で生産される最終製品がほとんどだ

担当者は「健康経営に注力する理由を「社員が健康を心配せず長く勤務してもらう体制を構築することにより、当社としての企業ブランド価値が向上。採用活動で優秀な人材を雇用でき、企業成長につながると考えています」と説明する。

健康経営の具体的な取り組みとしては、社員の健康を維持するための健康診断はもとより、二次健康診断費用の全額会社負担や人間ドックを受診する際の補助金制度を導入。また産業医と内科と心療内科のドクターと契約し、心身ともに安定した職場環境を整えている。また働き方改革の推進から労働時間の適正化

や休暇取得率向上、女性社員が働きやすくするための施策なども実践する。これらの取り組みが評価され、同社は経産省が推進する健康経営優良法人認定制度で、特に優良な健康経営を実践している企業など上位500法人にのみ与えられる「プライト500」の認定を受けた。今年で3年連続の認定となる。

担当者の説明によると「2024年度に健康経営に取り組む中小企業等の法人数は約100万法人とされており、そのうち優良法人に認定されたのは1万6733法人。そのうち上位500法人の中に当社が選ばれたことは、社員の意識向上だけでなく、お客さまからの信頼獲得といった面でもメリットを得ています。時には、当社と同じく健康経営に取り組む企業から『どのようにすればプライト500の認定が得られるのか』と質問いただき、情報交換したこともあります」と話す。

同社は今後も、安全かつ便利なラベルなどの製品をお客さまに供給することで、社会に役立つ企業として事業を推し進める方針としている。また健康経営についても「社員が長く業務に勤しむことができる取り組みを進めたい」と思っています。また退職後の人生においても健康の質的向上が望ましいと考え、定年後の雇用延長期間においても、高齢者社員に対して配慮した健康経営活動を推進していきます」(担当者)とコメントしている。